

鷺沼プール跡地周辺地区(神奈川県川崎市) まちづくり交付金の成果概要

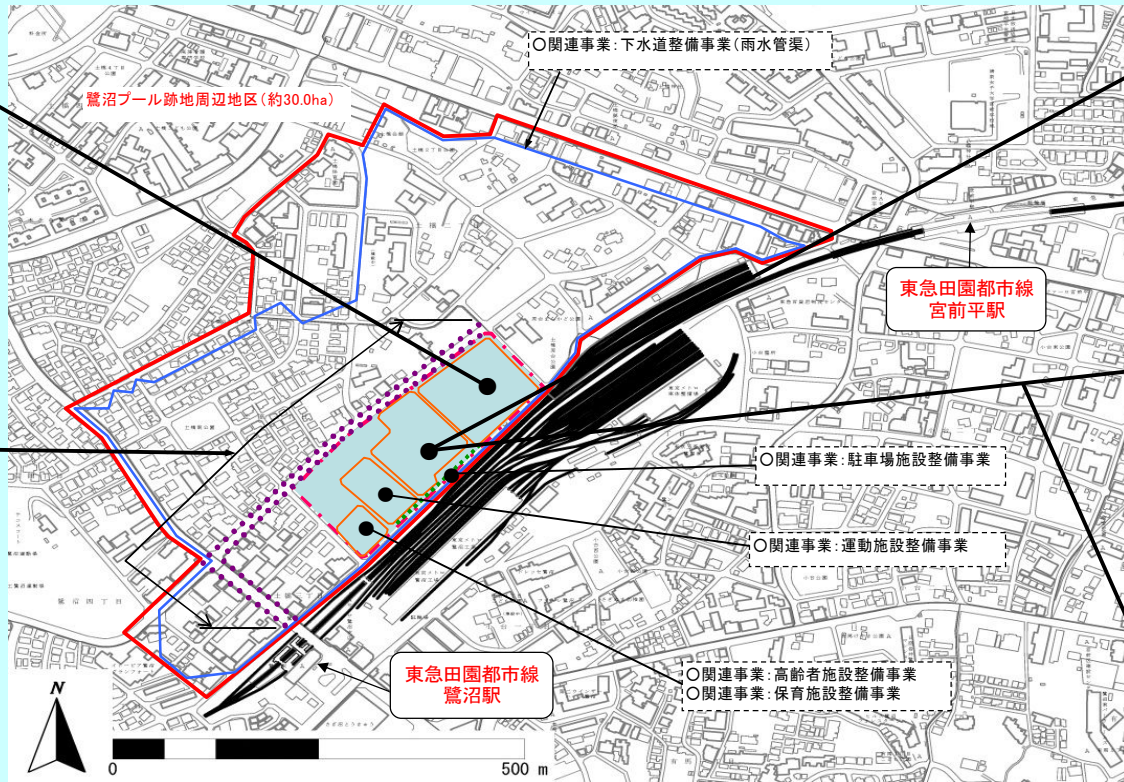
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
暮らしやすい生活中心拠点の整備により、世代を超えた多様な交流や活気のある地域コミュニティの形成と、良好な子育て環境を創出していく	まちづくり活動実績	単位:人/年	0 H14	30 H21	810 H21
	学校施設の地域開放利用の状況	単位:人/年	0 H14	21,000 H21	24,227 H21
	運動施設利用者数	単位:人/年	12,500 H14	100,000 H21	101,066 H21
	地区人口	単位:人	9,388 H16		9,560 H21
	雨水整備率	単位:%	32.9 H17		37.7 H21

■土橋小学校整備事業
過大規模校を解消し、良好な教育環境を提供するため、土橋小学校を新設し、特別教室や体育館等を開放し、地域に開かれた小学校としました。





■高質空間形成施設整備事業(インターロッキング舗装)
鷺沼駅から土橋小学校までの歩道にインターロッキング舗装をするとともに、誘導ブロックを敷設し、バリアフリー化を行いました。






■広場施設整備事業
芝生広場、ジャブジャブ池、ピオトープなどで構成される「鷺沼ふれあい広場」を整備し、子どもが安心して遊べ、地域交流の拠点となるスペースを創出しました。



■オープニングイベント支援事業
「カッパーク鷺沼」が区のシンボルゾーンとして地域交流の場となり、地域に根づくためのきっかけづくりとして、「カッパーク鷺沼」内の全ての施設が合同でオープニングイベントを開催しました。



■地域交流促進事業
世代間交流と地域コミュニティの活性化を図るため、オープン以来4ヶ年にわたり「カッパーク鷺沼」内の全ての施設が合同で参加・交流型のイベントを継続して開催してきました。

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・通年型レクリエーション施設として広場やフットサル場が整備されたことにより、周辺住民の交流や憩いを生み出す拠点施設の整備が図られた。 ・土橋小学校が整備されたことにより、周辺開発による児童数増に伴い生じていた過大規模校の解消に一定の成果が得られた。 ・延長・休日・一時等各種保育・支援センターを持つ多機能型保育園「さぎ沼なごみ保育園」の整備により、保育環境の充実が図られた。 ・鷺沼駅から広場までのインターロッキング舗装による歩行者空間の高質化及び誘導ブロック敷設等によるバリアフリー化が図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流を促進するため、広場を中心とした市民主体の活動を活性化させる仕組みづくりを継続させていくことが必要であり、引き続き交流の場の提供と支援を行う。 ・まだ一部の小学校では過大規模校が解消されていない状況があるため、周辺の住宅開発から児童数の推計値を注視し、周辺校の状況を踏まえながら、通学区域の変更を検討、実施していく。 ・土橋小学校の校庭が全面芝生であるため、芝生養生期間中は隣接する鷺沼ふれあい広場が使用されており、その他の広場利用者の使用に影響が生じている。現在、検討委員会を立ち上げており、全面芝生を導入した経緯を考慮しつつ、校庭の使用法、整備内容等について検討を進めている。 ・地区における安全性・快適性の確保を図るため、今後もバリアフリー基本構想に基づき、バリアフリー化を行っていく予定である。

評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	川崎市	地区名	鷺沼プール跡地周辺地区			面積	30.0ha
交付期間	平成17～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	681百万円	国費率	0.131		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	広場施設整備事業、インターロッキング整備事業						
		提案事業	オープニングイベント支援事業、地域交流促進事業						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	雨水管渠整備事業、情報板施設整備	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	なし	【雨水管渠整備事業】関連事業として位置付け整備することとしたため【情報板施設整備】類似施設が整備され新たな設置の必要性が低下したため			なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	なし						
		提案事業	土橋小学校整備事業	当初計画時、関連事業だったものを提案事業として位置付け整備			なし		
交付期間の変更	当初	平成17～21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
	変更	なし							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	広場の利用実態	人/年	17,500	H14	60,000	H21		36,591	△	あり	天気の影響を受けたことなどにより目標値の達成には至らなかったが、従前値の倍以上の利用者が見込まれ、憩いの場として親しまれている。	H22年5月頃
指標2	まちづくり活動実績	人/年	0	H14	30	H21		810	○	あり	子どもたちによる広場内施設の管理により、まちづくりのきっかけとなった。	H22年5月頃
指標3	学校施設の地域開放利用の状況	人/年	0	H14	21,000	H21		24,227	○	あり	土橋小学校を整備し、小学校を地域に開放したことにより、利用者が増加した。	H22年5月頃
指標4	運動施設利用者数	人/年	12,500	H14	100,000	H21		101,066	○	あり	運動施設を整備したことにより、利用者数が増加した。	H22年5月頃

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	地区人口	人	9,388	H16				9,560			広場や土橋小学校、下水道等の整備を行ったことにより、当該地区の住環境が向上したことが地区の人口増に寄与した。	
その他の数値指標2	雨水整備率	%	32.9	H17				37.7			下水道事業を行ったことにより、内水被害が減少し、一定の効果が見られた。	H22年5月頃
その他の数値指標3												

4)定性的な効果発現状況

- ・広場やフットサル場など一年を通じて利用できるレクリエーション施設が整備されたことによって生活基盤の充実がなされ、より魅力ある住みやすいまちづくりにつながった。
- ・「鷺沼ふれあい広場」では、ジャブジャブ池の整備によって小さな子どもが安心して水に親しむことができ、保護者同士が交流できる機会が生まれ、子育て環境の充実が図られた。
- ・市民募集によって鷺沼プール跡地全体の愛称「カッパーク鷺沼」とイメージキャラクター「カッチャン」を決定し、区内の各種イベントでキャラクター着ぐるみを活用したPR事業を推進したことにより、宮前区の顔づくりにつながった。

5)実施過程の評価	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
		モニタリング	評価	
モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	鷺沼プール跡地広場整備検討委員会	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	広場の整備が終了したことにより、鷺沼プール跡地広場整備検討委員会の目的を達成し、平成17年3月に解散した。また、広場整備に市民が参画したことにより、まちづくり活動のきっかけづくりができた。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	子どもたちによる広場内施設の管理活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	子どもたちの参加をきっかけとした地域交流の機会を創出することができたため、今後もピクトブや花壇の管理などに市民の参加の機会を確保していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		